事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	-	(H.24)No.	1202
-----------	---	-----------	------

事務事業名		資源循環型社会構築推進事業(緊急雇用創出事業)		
担当部局名		担当室名	室長名	連絡先
生活環境部		環境対策室	名和健治	63-7496
新・継	事業期間	根拠法令等		
新規	平成 24年度～平成 24年度	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	2	循環型社会の創造
	施策	2	ごみの減量化とリサイクル
	小施策	1	ごみの減量化
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード	272601
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	衛生費	資源循環型社会構築推進事業(緊急雇用創出事業)	
項	清掃費	(小事業名)	
目	ごみ対策費	資源循環型社会構築推進事業(緊急雇用創出事業)	

3. 事務事業の概要

事業内容	
<p>国の緊急雇用創出事業で雇用した環境レンジャーを活用し、地域や学校等に出向き、せん定枝粉碎処理機付車両(チップ車)等により、せん定枝を粉碎し、粉碎チップを必要な場所に運搬し、土壌改良、堆肥化、マルチ材等として有効利用するなど、草木類の資源化及び啓発を図ります。また、各小学校にも出向いて、環境教育でも活用します。</p>	

効果(事業目的)	
<p>草木類の資源化を中心に、資源循環型社会の構築、省エネルギー、環境保全を目的に、ごみの減量・資源化を推進します。</p>	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	
主な事業の実績・計画			環境レンジャー3名雇用 (雇用期間4月から3月) ・人件費 6,804千円 ・2トントラック1台借上げ 1,080千円 ・消耗品費 400千円 ・燃料費 983千円		指定管理	補助金・交付金	
					その他 (臨時職員雇用により実施)		
					平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
直接事業費				9,267千円			
財源内訳 (千円)	国庫支出金						
	県支出金			9,267			
	地方債						
	その他()						
一般財源	(0)	0	0	0	0	0	
人工数	職員			0.35人			
	臨時職員等			0.10人			
概算人件費		(0千円)	0千円	2,555千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費		(0千円)	0千円	11,822千円	0千円	0千円	0千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	回				7	20
	実績						
成果指標	目標	%	69.4	72.3	76.2	78.1	72.0
	実績						
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
燃やすごみの中に多く含まれる生ごみや草木類は、資源として活用できるので、前年度から資源化について方法を試行してきた。	平成24年度は、環境に関する新たな取組みとして、事業の採択を得ることができたが、今後、継続するには財源確保が課題となる。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
チップカーにより、せん定枝を粉碎、運搬し、資源として有効利用の意義を市民も理解することが、積極的なチップの活用につながり、ごみとなることはゼロとなってきている。草の資源化作業は、最小限にとどめ、チップカーによる資源化及び啓発活動を拡大したい。	地域や学校等に出向き、せん定枝を粉碎し、運搬することは、環境美化と資源を有効に利用でき、市民及び地域に感謝されている。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢・の場合) (4)はの場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できる	継続することにより事業の質と範囲を広げることができる。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できる	緊急雇用創出事業の不法投棄ごみ撤去事業と連携できる。
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	緊急雇用創出事業の継続を熱望する。
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	各地域ビジョンに環境の取組みはある。
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映を予定	事業が継続できれば、反映も可能と考える。
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できる	事業が継続できれば、工夫も可能と考える。

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(現行)	特記事項
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載	
ごみの減量、資源化、環境美化活動、環境教育等に推進に大きな効果がある。	